

【ば〜ばとママ・ば〜ばと孫との関係性に関する意識調査】

子育てファミリー向けフリー情報誌「Happy-Note」、妊婦さん向けフリー情報誌「Happy-Note For マタニティ」を発行しているミキハウス子育て総研株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：藤田 洋）と女性誌 No.1（※1）の「ハルメク」をグループで発行する株式会社ハルメクホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮澤 孝夫）の生きかた上手研究所は、20～85 歳の女性 1,196 名を対象に「ば〜ばとママ・ば〜ばと孫との関係性に関する意識調査」をWEBアンケートにて実施いたしました。

【調査対象】孫がいる 50～85 歳女性：283 名、子どもがいる 20 歳～54 歳女性：913 名、合計 1,196 名

（※1）日本ABC協会発行者レポート（2022 年 7 月～12 月）

【調査背景】

コロナ禍による移動規制やイベント制限、ママ友などとのコミュニケーションの機会減少等、ここ数年のコロナ禍は、子育ての孤立化を加速させたように思えます。しかしそんな環境だからこそ、社会とのつながり、特にシニア世代の両親とママ・パパ、祖父母と孫のコミュニケーションの大切さが浮き彫りになったのではないのでしょうか。

そこで、シニア世代の両親とママ・パパ、祖父母と孫との関係性がより有効なものになるよう、コミュニケーションを阻む世代間の考え方のギャップなるものがあるならば、それを明らかにし、お互いのあり方を見直す機会になることを祈り、ハルメク生きかた上手研究所と共に、シニア世代とママ世代の意識や実態の違いを把握する「ば〜ばとママ・ば〜ばと孫との関係性意識調査」を実施致しました。

【主な結果】

■ママ世代が子どもにしてもらってうれしかったこと ベスト3（複数回答）

（子どもがいる 20～54 歳女性：913 名）

- 1位 遊び相手になってくれる（77.5%）
- 2位 お祝い行事など祝ってくれる（75.1%）
- 3位 プレゼントを買ってくれる（68.0%）

■ば～ば世代が孫にしてあげたいこと ベスト3（複数回答）

（孫がいる 50～85 歳女性：283 名）

- 1位 お祝い行事など祝う（79.2%）
 - 2位 遊び相手になる（58.3%）
 - 3位 一緒に旅行やおでかけをする（54.1%）
-

■ママ世代が子どもに教えてほしいこと ベスト3（複数回答）

（子どもがいる 20～54 歳女性：913 名）

- 1位 やさしさや愛情（67.8%）
- 2位 あそび（49.7%）
- 3位 生活の知恵や家事（46.3%）

■ば～ば世代が孫に教えたいこと（複数回答）

（孫がいる 50～85 歳女性：283 名）

- 1位 やさしさや愛情（65.7%）
 - 2位 生活の知恵や家事（48.4%）
 - 3位 礼儀やしきたり（43.5%）
-

■孫のことで子や子の配偶者に遠慮していること、本当はこうしたいと思うこと

(孫がいる 50～85 歳女性：283 名) ※自由記述抜粋

- ・孫の両親が「手伝ってほしい」と言っていない場合は、あまり干渉しないようにしている (63 歳)
- ・もっと会いたいけど忙しそうなので遠慮している (85 歳)
- ・自分の子ではなく、あくまでも子供たちの「子」であることをわきまえる (69 歳)

■子どもとの接し方について、実母や義母に遠慮していること、本当はこうして欲しいと思うこと

(子どもがいる 20 歳～54 歳女性：913 名) ※自由記述抜粋

- ・義母にはもう少し遊びに付き合っしてほしいと思っている。プレゼントなどはよく買ってくれますが、一緒に遊びに行くということがないので (31 歳)
- ・すぐに孫たちにプレゼントを買ってくれようとするが、一緒におしゃべりしたり、遊んでくれたり、それだけで十分なので貢がないでほしい (34 歳)
- ・遠慮してあまり遊びに来てくれていないのかも知れないが、もっと気軽に遊びに来て沢山子どもたちと触れ合っほしい (33 歳)

【今回の調査を通じて】

シニア世代は「(孫に)もっと会いたいけどママ世代が忙しそうなので遠慮している」とコメントしている人が多い一方で、ママ世代は「(子どもと)もっと遊んでほしい、一緒に過ごしてほしい」と思っているようで、お互い遠慮しながら、一歩引いているように感じます。

会いたい時に会いに行けるようになった今、孫の成長を一緒に見守り、喜べる貴重な期間はあっという間です。家族間でお互いの思いを話し合い、共に楽しく過ごす時間を大切にしていきたいものです。

ママ世代は、子どもの成長に欠かさない道徳や情操教育の部分も大いに期待していることが、わかりました。

このリサーチ結果がシニア世代の両親とママ・パパ、祖父母と孫との活発なコミュニケーションの啓蒙につながることを願います。

【調査概要】

ママ世代

調査実施期間：2023年8月24日（木）～2023年9月6日（水）

調査方法：weekly ゴーゴーリサーチ

調査対象：20～54歳の女性

有効回答数：913

調査主体：ミキハウス子育て総研（株）

シニア世代

調査実施期間：2023年8月29日（火）～2023年9月1日（金）

調査方法：WEB アンケート

調査対象：50～85歳の女性

有効回答数：283

調査主体：（株）ハルメクホールディングス 生きかた上手研究所

子育てファミリーへの調査結果は、以下のページで発表しております。

<https://www.happy-note.com/research/11058.html>

※シニア世代との比較にあたっては、回答者の年齢・性別などをセグメントしております。

【誌面情報】

■『Happy-Note(ハッピー・ノート)』

全国のミキハウスショップや提携医療機関等で無料配布している子育て情報誌『Happy-Note(ハッピー・ノート)』。

2023年で創刊20周年を迎えました。子育てを楽しむグッズやサービス、旅情報、制度など最新トレンドも詰め込んだ子育てナビゲーションブックです。

20周年を機にさらにパワーアップし、今の子育て世帯に役立つ情報を発信してまいります。

（年5回・毎号16万部）



『Happy-Note For マタニティ』

妊婦さん向け情報誌として今年で創刊7年目を迎えました。

出産準備から生後12か月までの保存版として、全国のミキハウスショップ、産婦人科等の提携クリニック、アカチャンホンポ全店にて無料配布しています。

妊娠中に準備しておくことで、赤ちゃんと豊かな、happyな暮らしをスタートすることができる。そんなこれからの暮らしを応援してくれる出産準備品やサービス、制度などを詰め込んだ妊娠、子育て応援ブックです。(年4回・毎号8万部)



■女性誌部数No.1 50代からの生きかた・暮らしかた応援雑誌「ハルメク」

1996年に50代からの生きかた・暮らしかた応援雑誌「いきいき」として創刊。

20周年を迎えた2016年5月号から、誌面を「ハルメク」にリニューアル。

50代からの女性が前向きに明るく生きるための価値ある情報をお届けしています。

健康、料理、おしゃれ、お金、著名人のインタビュー等、幅広い情報が満載です。

2018年には公式WEBサイト「ハルメクWEB」もオープン。

健康で美しく、アクティブなセカンドライフを応援するコンテンツを毎日発信しています。

